

2005年度 第1回特許セミナー

「青山学院大学理工学部と TAMA-TLO の産学連携の現状」

開催日：2005年6月29日(水) 14:00～16:00

会場：青山学院大学 相模原キャンパス F棟2階204教室

会場案内図は青山学院大学 web サイトをご覧ください。

お車でのご来場はお断りします。

主催：青山学院大学総合研究所自然科学研究部

共 賛：青山学院大学理工学部

参加希望者は下記までご連絡お願いいたします。当日参加も歓迎いたします。

お問い合わせ先：青山学院大学 相模原事務局 研究支援ユニット

TEL：042-759-6056 (ダイヤルイン)

E-mail：sawabe@ee.aoyama.ac.jp

<プログラム>

司会：研究支援ユニットマネージャー 篠原 草司

14:00～

挨拶

理工学部長 稲積 宏誠

14:05～

「局所補正画像の生成方法 ～特許出願とこれから～」

経営システム工学科 助手 佐藤 秀明

研究で顔画像のデータベースを扱っていると、撮影条件上、まっすぐ正面を向いていなければならない顔が左右のどちらかに傾いてしまっている人を多く見かけます。この傾いて撮影された顔画像を補正するためのアルゴリズムを考案し、このたび TAMA-TLO を通じて特許出願いたしました。本技術は、画像全体から補正対象となる領域を決定し、その領域のみに補正処理を施すことで、画像全体に補正処理を施す従来技術よりも自然な補正画像の生成を可能としています。

14:25～

質疑応答

14 : 30～

「バイオ (DNA 関連) で特許出願」

化学・生命科学科 教授 降旗 千恵

この度 TAMA-TLO の勧めに乗って特許出願という新しい経験を新鮮な興味を持って味わったので報告します。ゲノムとは一つの細胞に含まれる全 DNA を指します。2003年のヒトゲノムプロジェクト完了によって、それまでは遺伝子1つずつしか研究できなかったのが、同時に100でも1万でも研究できるようになり新しい世界が開けました。遺伝子発現解析の新しいツールの一つとして DNA マイクロアレイがあります。本特許は DNA マイクロアレイ作製に関連して公開されている DNA database からの遺伝子と部分塩基配列の選択と実験技術に関するものです。

14 : 25～

質疑応答

14 : 55～

「TAMA-TLO と技術移転」

TAMA-TLO(株) 代表取締役社長 井深 丹

TAMA-TLO は大学の研究成果を特許化して企業に技術移転する国家承認の会社である。大学の研究成果である発明考案を審査して特許出願するときは、独創性の他に製品化の可能性と製品化企業の存在を重視している。技術シーズを提供する大学は青山学院大学を初めとして 27 大学であり、技術移転を受ける企業は広域多摩地域の中堅・中小企業が多い。技術移転を行う時、企業側から公的資金による産学連携研究での実用化を希望することが多い。製品化にはこれは重要である。大学のシーズから公的資金により製品化に成功した事例を紹介して、産学連携の成功について考察する。

15 : 45～

質疑応答 (予定討論を含む)

16 : 00～

閉会の挨拶

総合研究所自然科学研究部長 降旗 千恵